



2022年8月22日

各位

ENEOS株式会社

和歌山メガソーラー発電所の建設開始について

当社（社長：齊藤 猛）は、和歌山県有田市において、メガソーラー発電所の建設を開始しますので、お知らせいたします。

ENEOSグループは、2040年長期ビジョンにおいて自社排出分のカーボンニュートラルの実現を掲げ、国内・海外において再生可能エネルギーを軸とした発電事業を積極的に展開しており、国内ではトップクラスの再生可能エネルギー発電容量を保有しています^{*1}。加えて、分散型電源を活用した次世代型エネルギー供給・地域サービスを成長事業と位置付け、自社リソースを活用したエネルギーサービスの創出にも取り組んでおります。

本メガソーラー発電所は、当社和歌山製油所内の現在遊休地となっている敷地を利用するものであり、国内発電事業の強化に資するものです。

なお、本事業は、2022年1月25日の当社ニュースリリース「当社石油製品の生産・供給体制の再構築について」発表前から計画されていたものです。和歌山製油所エリアの今後の在り方につきましては、別途、地元行政の皆様を交え議論しております。

当社は、今後も、再生可能エネルギーをはじめとした環境配慮型エネルギーの供給を積極的に推進し、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」および目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。

以上

〈ENEOS和歌山メガソーラー発電所の概要〉

所在地	和歌山県有田市
出力規模	約8.5MW
運転開始	2023年8月予定

※1：当社の国内再生可能エネルギー発電事業（JRE持分容量含：2022年6月末時点）

太陽光	75箇所	発電容量	48.6万kW
陸上風力	8箇所	発電容量	8.6万kW
バイオマス	2箇所	発電容量	9.1万kW
		計	66.3万kW